

## < はじめに >

2019年9月中旬頃より、本講座の受講生のCVが経歴「詐称」ではないか、本講座で実施していたトライアル添削が「NDA違反」ではないか、といったこれまで一部の方々から言われている問題について、誤解されている方や本講座の現在の状況について知りたがっている方がいらっしゃいますので、全体を整理してお伝えさせていただきます。

現在、Twitterなどにおいて、匿名の一部の方々から、本講座について、事実に反する噂を流している方がおられます。

例えば、本講座の受講生様の実績として紹介してきた内容がデタラメであるといった書き込みがあるようなが、事実に反しています。

これまでに私がTwitterでお伝えしてきた「**トライアル合格者の声**」や「**お仕事獲得の声**」は、**実際に受講生様から送られてきたものであり、一切、手を加えておりません**（受講生様のお名前などの個人情報にはモザイクを入れております）。

また、一部の方が実際のトライアルの合格者は75名程度しかないといっておられますが、事実に反しています。

**本講座を受講してトライアルに合格された方は、現在では、累計約200名ほどおります。複数の翻訳会社のトライアルに合格された方も多数いらっしゃいます。**

また、内容には差こそあれ、実際に仕事を獲得できている方も多数おられます。

実際に専業で月100万円稼ぐ方、副業で月50万円稼ぐ方、半月で50万円稼ぐ主婦の方などを複数輩出しており、継続的に依頼を獲得している方も多数いらっしゃいます。

トライアルに合格された受講生様が、あたかも全員不正な手段で合格しているということをいっている方が一部おられますが、事実と異なります。

実際に仕事の依頼が多数来ているということは、受講生自身に実力があるからです。

また、本当に実力がなければ翻訳会社様から仕事が何度も来ることもないはずです。

トライアルに合格された受講生様の翻訳内容を一度も見たことがないにもかかわらず、トライアルに合格した受講生様の全員が不正を働いていると決めつけるのは、当社のみならず、受講生様の名誉を傷つけるものですので、誹謗中傷は今後やめて頂きたいです。

ただ、トライアルに合格したにも関わらず仕事がほとんどきていない方もいらっしゃることは事実ですので、今後の課題として対応したいと思います。

## < 今回問題となった点 >

- 1 CV作成時のテンプレート使用・実績記入について
- 2 トライアル敗因分析を行っていたこと
- 3 宣伝文の記載に関して
- 4 海外に逃亡するのではないかとされていることについて
- 5 レート情報の共有について

### 1 CV作成時のテンプレート使用・実績記入について

本講座では、CVの書き方を指導する際に、イメージを持って頂くためのサンプルとして、私のCV（住所や電話番号、メールアドレス部分は空欄）を提供させて頂きました。

私のCVには、私の実績や翻訳環境、使用している翻訳支援ソフトなど、私が実際に使っているCVのほとんどの情報を記載しておりました。

そして、受講生様には、私が提供したCVを参考にして、受講生様のご自身のCVを作成してもらっていました。

しかし、本講座で学ぶ受講生様が多くなるにつれ、翻訳会社様には、同じような様式のCVや、同じような実績が記載されたCVが多く提出されることとなったという話を聞きました。

そのため、翻訳会社様にご迷惑をおかけする事態となってしまいました。

本講座では、受講生様には、CVについては、私のCVを参考にして、ご自身のCVを作成して頂くように指導していました。

しかし、受講生様が翻訳会社様に提出したCVのうち、相当数が同じような様式・書式となっており、そのため、翻訳会社様が怪訝に思われたかもしれないという話を聞いております。

これは、私の指導が不十分だったことが原因となっているかと思っておりますので、深く反省しております。

また、私の指導では、受講生様がCVを作成される際には、練習で行なったことを「実績」として記入してもよいと伝えていました。

実は、私は、自分が以前通っていた講座で「翻訳会社に初めてCVを提出する際には、仕事の実績がないので、練習で行ったことを『実績』として記入してもよい。」と指導を受けていました。

そのため、大変お恥ずかしい話なのですが、その指導を、何の疑問も持たずに、本講座でも踏襲してしまったというのが事実です。

もちろん、この問題が発生した後に、「『実績』というのは、実際の仕事のことをいうのであって、自分でいくら練習しても『実績』とはいわない。前の通っていた講座でそう教えられていたとしても、その教えが間違っている。」ということで、多数のご指摘、お叱りを頂きました。練習で行ったものを「実績」として記載してもよいという指導は、不適切な指導であり、反省しております。

ご迷惑をおかけした翻訳会社様や、受講生の皆様には、改めてお詫び申し上げます。

私の指導が不適切であると認識した後、具体的には、**2019年9月中旬以降は、「CVに実績として記入するのは、クラウドソーシングサイトや翻訳会社様から頂いた仕事のみを記載してください。仕事の経験がなく、練習で行ったものをCVに書く場合は、練習として行ったことを正直に記載してください。」と指導するように改めました。**

現在では、本講座の講義動画も撮り直し、受講生の皆様一人一人が自分自身の力でCVを作成することができるよう指導しています。

オリジナルのCVを書くことに苦勞されている方もいらっしゃいますが、受講生様が、それぞれ改善された講義動画を何度も見直し、CVを作成して頂いております。

## 2 トライアル敗因分析を行っていたこと

一部の方から、受講生様が翻訳会社に提出する前のトライアルの翻訳を私が指導し、あたかも受講生様がカンニングをして合格したのではないかと言われていますが、そのような事実はございません。

トライアルの敗因分析として、受講生様の中の一部の希望者に対して、受講生様が実際に受けたトライアルの添削を行っていたことは事実です。

しかし、トライアルの添削は、受講生様がトライアルの結果を提出する前に行っていたのではなく、トライアル受験後（受講生様がトライアルの結果を提出した後、通常はトライアル不合格の通知がきた後）に行っていました。

トライアルの添削を行っていたのは、何故不合格になってしまったのか、その原因を分析し、その後、別の翻訳会社様のトライアルを受ける際の参考にしてもらうため、受講生様のためにとよかれと思って、行っていたのでした。

しかし、受講生様が受けた翻訳会社様のトライアルの課題の内容を、私が受講生様から提供を受けて添削するということは、受講生様と翻訳会社様との間の信頼関係を損なう行為です。

また、受講生様と翻訳会社様の間でトライアルの課題を第三者に開示しないという秘密保持契約（NDA）が締結されている場合は、NDA違反となる可能性もありました。

更には、翻訳会社様が、同一のトライアルの課題を他の応募者にも使用されていることもあるかと思えます。私がトライアルの課題を添削して解説してしまうと、翻訳会社様がトライアルの課題を変更しないといけなくなり、翻訳会社様にご負担・ご迷惑をおかけすることになってしまいました。

この問題が発生した後、多数の方から、ご指摘・お叱りを頂き、反省しております。

私の考えが及ばず、翻訳会社様にご負担・ご迷惑をおかけしてしまいました。お詫び申し上げます。

トライアル添削をすることが問題であると認識した**2019年9月中旬以降は、トライアル敗因分析を一旦停止し、10月31日に完全廃止**といたしました。

そのため、現在では、本講座では、翻訳会社様のトライアルの課題については、添削も含めて、一切、取り扱わないようにしております。

### 3 宣伝文の記載に関して

本講座ではTOEIC500点以上、英検2級～準1級の間くらいの英語力があれば大丈夫で、あとは翻訳者としてのスキルを身につけていくことができれば、翻訳者として活動することができるかと伝えております。

それだけの英語力では、トライアルに合格し、プロの翻訳者として活動することは無理なのではないかと思われる方もおられると思います。

しかし、**実際にTOEIC500点台でトライアルに合格された受講生の方は複数いらっしゃいます。**

中には、TOEIC500点台で数万ワードの仕事を即獲得された方もいます。

また、本講座では、最短で40日でトライアル試験に合格した受講生様がおられるということもお伝えしています。

ただ、「**最短40日で翻訳者になれない。なれるはずがない。**」と決めつけている方もおられます。

しかし、**実際に40日でトライアルに合格し、仕事の依頼もすぐであり、仕事に着手された受講生様がおられます。**

ですので、私は、本講座の宣伝では、**実際の事実を記載したのであって、事実と反する内容をお伝えしたわけではありません。**

**また、株式会社REGOLITHが事実と反する誇大表現を使って宣伝をしていると一部の方が言っていました、事実を記載しているだけです。**

もちろん、TOEIC500点や英検2級～準1級の間くらいの英語力でも、本講座を受講したら必ずトライアルに合格できるとか、40日あれば必ずトライアルに合格できるということを保証しているわけではありません。本講座の内容には自信をもっておりますが、受講生の皆様のハードワークも必要であることは事実です。

本講座の「受講感想」に、上記のような結果を出された受講生様から声の記載がありますので、ご確認頂けますと幸いです。

【在宅翻訳起業コミュニティ】講座受講感想28 Wさん(30代 男性、講座開始40日でトライアル合格)

<https://nandemotranslation.com/jukoukansou28>

【在宅翻訳起業コミュニティ】講座受講感想37 Hさん(40代 女性、講座開始45日でトライアル合格)

<https://nandemotranslation.com/jukoukansou37>

【在宅翻訳起業コミュニティ】講座受講感想92 Mさん(20代 女性、講座開始1年4か月でトライアル合格)

<https://nandemotranslation.com/jukoukansou92>

英検やTOEICの試験は、英語力を測る試験の一つではありますが、翻訳者としての能力を判定するものではありません。

もちろん、プロの翻訳者として活躍するためには、基礎的な英語力が高い方がよいことは間違いありません。

しかし、英検1級合格だったり、TOEICで満点をとれば、それだけで翻訳者となれるわけでもありません。

本講座では、受講生様においても、基礎的な英語力を高める努力を継続して行って頂けることを前提に、プロの翻訳者になるためのノウハウを提供させて頂いております。

もちろん、受講生の方には、本講座の受講が終わった後も、ご自身の英語力を高める努力は継続して行って頂き、プロの翻訳者として活躍して頂きたいと思っております。

## 4 海外に逃亡するのではないかとされていることについて

一部の方から、「叩かれるから」や「募集した受講生が一旦落ち着いたから」といった身勝手な理由で私が講座を辞め、海外に逃亡するのではないかとされています。

**ですが、私が海外逃亡している事実もなければ、海外逃亡をするつもりも一切ございません。**

私は、本講座で必死に翻訳者を目指す受講生様のことは見捨てることはしません。私は、受講生様を、全力でサポートし、少しでも良い形で翻訳業界に送り出したいと思っております。

ですので、憶測や虚偽の事実で、本講座の受講生様の不安を煽るような言動はやめて頂きたいです。

## 5 レート情報の共有について

本講座では、トライアルの合格者で実際に仕事をされた一部の方から、翻訳会社様がどの程度のレートで仕事を出されているのかを伺って、まとめました。

翻訳のレートについては、翻訳会社様によって様々違うとは思いますが、基本的には、翻訳会社様が求める翻訳のクオリティや翻訳者の実力、トライアルでの成績などに応じて、個別案件毎に決まるものと理解しています。

実際、私が過去に行ってきた翻訳の仕事でも、レートにはかなりの幅があったのも事実です。

そのため、受講生様がトライアルに合格した後、実際に翻訳の仕事を行っていくにあたって、ご自身が引き受けた仕事のレートが業界の中で、どの程度に位置しているのかを知って頂くことによって、実力をアップして更によりよいレートを目指して頂きたいと思い、受講生様によかれと思って、翻訳会社様のレートについてまとめていたのです。

私が過去に翻訳会社様から仕事を頂いた場合、契約書を締結しなかったり、締結した場合でも秘密保持条項がないこともありました。そのため、受講生様によかれと思って、レートをまとめていたのです。

しかし、翻訳会社様が仕事を発注されるにあたって、翻訳者との間で契約書が締結された場合、その契約書に秘密保持条項があるときは、その仕事のレートの情報を第三者に開示することは許されないという指摘・お叱りを受けました。私の考えが足りず、翻訳会社様にご迷惑をおかけしてしまいました。お詫び申し上げます。

本件が問題であると認識した後、具体的には2019年11月中旬以降は、具体的なレートについてまとめることを止めました。また、それまでは、レートをまとめたデータを受講生様が閲覧できるようにしていたのですが、データそのものを削除しました。

更に、トライアルに合格した受講生様から合格報告をして頂く際には、受講生様と翻訳会社様との間で締結した秘密保持契約に違反するような内容を含まないようにして頂くようお願いしております。それでも、問題となりそうな合格報告が仮にあった場合には、該当部分を削除して頂くなどの措置を講じる予定です。

**< 今後の対策 >**

- 1 本講座の講義動画の見直し
- 2 今後の受講生指導について

## 1 本講座の講義動画の見直し

本講座の中で使用していた動画を全て確認し、今回の件で問題となった内容（CVの作成指導、トライアル敗因分析）を含む講義動画については、全面的に変更しました。

CVの作成指導については、「CVに実績として記入するのは、クラウドソーシングサイトや翻訳会社様から頂いた仕事のみを記載してください。仕事の経験がなくて、練習で行ったものをCVに書く場合は、練習として行ったことを正直に記載してください。」という指導をするものに動画を再収録して、全面的に差し替えました。

また、トライアル敗因分析については、翻訳会社様のトライアルの課題を使っていた動画を全て削除し、講義自体を廃止しました。その代わりに、著作権フリーの英文を用いて翻訳の仕方の指導をする動画を収録して、新たな内容に変更しました。

講義動画の再収録、差替・変更の作業は2019年10月から行い、11月中旬には全ての作業が完了しております。

また、講義動画の再収録にあたっては、問題となった内容以外についても、これまでに受講生の皆様から頂いたご質問やご意見などを踏まえて、講義内容の見直しも行っております。

再収録をした本講座の内容については、より実践的な内容となっておりますので、既に一度受講された方も、ご覧になって頂けると幸いです。

## 2 今後の受講生指導について

これまで指導してきた受講生様に関しては、今後は、徹底して仕事を獲得する力の向上をメインに行なっていこうと考えています。

そもそも、翻訳者としての実力があるか、一緒に仕事をしていくことができるかどうかについては翻訳会社様が決めることです。

実際に実力のある方は仕事がありますし、実力が不足している方には、トライアル合格ができなかったり、トライアル合格ができて、仕事がないという現実があります。

ですので、今後の受講生様に対する指導の課題としては、翻訳者としての実践的な力を習得して頂き、真に実力のある翻訳者を育てることだと考えております。

そのために、講師の増員やパソコン周りのサポート講師なども増員しております。

トライアル合格ができない方、トライアル合格をしても仕事の依頼に結びつかない方の原因としては、英語力以外にも、翻訳会社様が抱えている案件の分野とのマッチングがうまくできていなかったり、翻訳会社様が使用しているツールに対応したスキルの不足、翻訳会社様とのコミュニケーションの取り方が適切でないなど、様々な原因があります。

そのため、今後の受講生様に対する指導については、翻訳者としてのスキルの向上だけでなく、仕事を獲得する力を向上させるための指導を徹底していきたいと考えています。

## < 最後に >

本講座に対して皆様から貴重なご意見を頂きましたことに感謝しております。厳しいご批判・ご叱責も頂きましたが、反省すべき点は反省し、改善に努めていきたいと思っております。

本講座の内容につきましては、皆様からのご意見・ご批判を踏まえて、今後も継続して、内容をより充実したものにバージョンアップしたいと思っております。

私は、翻訳者になりたいとお考えの方に、プロの翻訳の世界で通用する実力をつけて頂き、翻訳者として、是非、デビューして頂きたいと思っております。

率直に申し上げて、英語力さえ高ければ、翻訳者になれるというものではありません。翻訳者となるためには、英語力以外の能力、翻訳者としてのスキルも必要となります。

そのため、独学では、なかなか翻訳者となることも難しいですし、翻訳者になれたとしても遠回りをすることも少なくないと思います。

同じ努力をするのであれば、結果の出やすい努力をして、最短コースでチャレンジをして頂きたいです。

また、翻訳者の志望者向けの翻訳スクールは、世の中には多数あります。

そういった他の翻訳スクールと比較しても、本講座は、より実践的な、翻訳の仕事を獲得するためのノウ・ハウをお伝えすることができると思っております。

そして、私の将来の夢としては、実力のある翻訳者を育てていくことで、翻訳会社様、ひいては翻訳業界全体に貢献させて頂きたいと思っております。

例えば、実力のある翻訳者には、レートの高い仕事を獲得し、自分の能力を十分に発揮して頂く、正しい努力がきちんと仕事に結びつく、そして、受講生様には、そういう実力のある翻訳者になって頂くことの一助になれば本望でございます。

最後にこのような形でお伝えするのは大変恐縮ではありますが、以下の2点についてお願いがございます。

## ①受講生様へ

私の理解不足や認識の甘さが原因で、本講座の中での私の言動で、上記で説明させて頂いた問題があったことは事実です。

繰り返しになりますが、受講生の皆様には、ご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ありません。

また、インターネット上では、上記のとおり、事実と反する誹謗中傷がありますので、それらをご覧になった方は、ご心配に思われている方もおられると存じます。

実際、インターネット上の誹謗中傷をご覧になって不安になった受講生様の一部の方から、私や本講座の運営スタッフに対してご相談がありました。

ご相談があった方に対しては、できる限りのご説明をさせて頂きました。それでもご不安がなくなるという一部の方については、運営側と協議をさせて頂き、残念ながら、退会をされた方もおられます。

もしかしたら、不安に思われているけれども、私や運営スタッフに相談できていない方がまだおられるかもしれません。

もし、そのような方がおられましたら、インターネット上の誹謗中傷をそのまま信じるのではなく、直接、私や本講座の運営スタッフにお問い合わせをして頂けますようお願い致します。

インターネット上で誹謗中傷しておられる方のほとんどは、受講生でもなく、噂や思い込みで、事実に基づかず発言しておられる方が少なくありません。

インターネット上で本講座を誹謗中傷される方（特に匿名の方）は、受講生様の将来について何ら責任をとらない、ある意味、無責任な立場から、コメントしているといっても言い過ぎではないかと思えます。

ですので、本講座の内容や、ご自身の将来設計について、不明なことやご心配なことがありましたら、私又は本講座の運営スタッフに遠慮無くご相談して頂けますようお願い致します。

私は、当然のことですが、「実名」を出して、自分の信頼・信用という看板を背負って、受講生様のために本講座を提供させて頂いております。受講生の皆様からは、少なくない受講料と、貴重なお時間を頂いている以上、当然のことです。

他方、インターネットにおいて誹謗中傷をされている方、特に「匿名」の方は、受講生の皆様に対して、責任をとらない立場から、言いつばなしをしているにすぎません。

最後は、受講生の皆様のご判断にはなりますが、私からのお願いとしては、本講座の内容と私を信じて頂き、受講生の皆様がプロの翻訳者になれるお手伝いをさせて頂ければ幸いです。

## ②インターネットで誹謗中傷をされている方へ

私や本講座の運営スタッフには、一時期、相当の批判、中には口汚い言葉で私や、本講座の運営・販売業者である株式会社REGOLITHに対する誹謗中傷が寄せられました。

また、インターネット上にも、事実と反する書き込みや、全くの憶測に基づく中傷など、風評被害の程度は著しいものとなっています。

さらには、本講座の受講生様を中傷・罵倒するような書き込みすらあります。

もちろん、上記のとおり、本講座における私の言動に問題のある行為があったことは事実です。その点についてのご指摘・ご批判については、真摯に受けとめ、反省すべき点は反省し、改善すべき点は改善に努めてきております。

また、頂いたご批判の中には、私から見ても、なるほどと思うこともあり、厳しいご批判ではありますが、私としても、自分を反省する契機となったことも事実です。

率直に申し上げれば、「自分に問題があったとしても、ここまで厳しいことを言われる」「しかも、受講生様ではない第三者から批判される」ことについては、私としても辛い時期がありました。

しかし、厳しいご批判をされる方の中には、翻訳業界のことを真摯に思って批判されている方もおられるということや、私や本講座に対するご期待が大きいから故の厳しいご批判もあるということに思い至りました。

もちろん、私も、至らないところや、改善すべき点があるのも事実です。

そのため、今となれば、厳しいご批判であっても、改善すべき点などについて、ご意見を頂いたことについては、感謝しております。

他方、事実と反する書き込みや、全くの憶測に基づく誹謗中傷は、私や株式会社REGOLITHに対する名誉毀損となりますし、同時に、業務妨害にもなります。まして、本講座の受講生様に対する誹謗中傷は、もってのほかの行為です。

名誉毀損は、民事上の違法行為でありますし、刑法上の犯罪にもなります。業務妨害も、刑法上の犯罪です。

ですので、今後、私や株式会社REGOLITH、そして本講座の受講生様の名誉を毀損し、または、私や株式会社REGOLITHの業務妨害となるようなインターネット上の書き込みは、止めて頂けますようお願い致します。

上記のとおり、私の一部の言動に問題があったことは事実ですので、これまでは、こういった一部の方からの誹謗中傷に対する対応よりも、問題を改善する作業や、受講生様からのご相談についての対応を優先しておりました。

しかし、インターネットにおいて、私や株式会社REGOLITHに対する誹謗中傷を繰り返しておられる一部の方が「いまだに」おられるのも事実です。

現在は、問題を改善する対応については、一段落したこともありますので、今後は、インターネット上で誹謗中傷を繰り返す方については、株式会社REGOLITHと相談の上で、法的手段を含めた何らかの措置を講じることを検討しております。

という次第ですので、繰り返しになりますが、今後、私や株式会社REGOLITH、そして本講座の受講生様の名誉を毀損し、または、私や株式会社REGOLITHの業務を妨害するようなインターネット上の書き込みは、止めて頂けますようお願い致します。

2019年12月4日（水）

浅野 正憲